



観光列車の可能性

おもてなしの心で支える 観光特急「海幸山幸」

日南線を走る観光特急「海幸山幸」は、土・日・祝日に宮崎駅から南郷駅間を運行しています。日南市の特産「飴肥杉」をふんだんに使い、木のぬくもりと杉の香り漂う列車として、運行当初多くの鉄道ファンが乗車しました。現在は、海幸山幸に乗って、飴肥や南郷に行く乗客が増え、市の観光に必要不可欠な存在となっています。列車は、一定時間駅に停車。乗客は、訪れた場所をじっくりと見て回れるため、地域や住民と触れ合う機会が多くあります。現在、下車した乗客の受け入れを支えているのは、観光資源だけでなく、地域住民。散策マップの作成や、車窓からの風景を楽しませるため、子どもたちの元気なあいさつや、沿線にコスモスの植栽などを実施し、おもてなしの心で迎え入れています。これらの取り組みが、乗客に感動を与え、利用者の増加とまちの活性化につながっています。吉都線でも、不定期ながら観光列車が走っています。日南市の取り組みは、今後のヒントになるかもしれません。



10月1日には、小林駅発着の「海幸山幸」と「環（ぐるっと）霧島周遊列車」が運行します

Pick UP 南九州の観光列車たち



はやとの風
吉松～鹿児島中央間



いざぶろう・しんべい
人吉～吉松間



海幸・山幸
宮崎～南郷間



指宿のたまた箱
鹿児島中央～指宿間

魅力あふれる観光列車

当社が運行する観光列車は好評を博しています。これは、観光列車によって、話題をつくり、鉄道の魅力を創造することが地域の活性化にもつながっています。全国から楽しみに来られる人が、それに乗るために新幹線なども利用してもえればと考えています。

乗客数が半減した吉都線

吉都線の乗降客数は、ピークだった民営化時点か

ら約半分にまで減少しています。これは、吉都線だけではありませんが人口減少や少子高齢化などのため、乗客数が減少しており、今後も傾向は続くと思われる。乗る機会が多い高校生が減った結果、乗客数が減少しているのでしょう。吉都線は、経営的に見ると、JR九州管内で、とても厳しい状況です。

継続した取り組みに期待

そういった中で、吉都線100周年を、沿線自治体

に住む皆さんが一体となって取り組んでいただいていることは、鉄道利用の促進という観点からも、とてもありがたいことです。当社としても、できることがあれば、協力したいと考えています。また、市民の皆さんがアイデアを出して取り組んでいるので、一過性のイベントではなく、101年目以降も継続していただきたいです。そうすることで、吉都線がスポットを浴び、鉄道と地域の活性化に少しでもつながっていくのではと思っています。



九州旅客鉄道株式会社 鹿児島支社

まつもと きよたか
松本喜代孝 支社長

きつとつながる。吉都でつなぐ



MANAGE

経営者に聴く吉都線

私たちが移動する手段の一つである鉄道。たくさんの人と物を運ぶ公共交通機関として、日本の発展に大きく貢献してきました。100周年を迎える吉都線も、例外ではありません。気になるのは、現状と今後。運営するJR九州に聴きました。

鉄道は地域社会の活性化に

鉄道は、輸送を通じて、地域社会の活性化に貢献することが役割だと思っています。当社は、安全で安定的に輸送できる交通手段であるように運営しています。また、お客さまには、絶対にご迷惑がからないように心がけています。

鉄道事業は赤字でも

鉄道が開通した当時は、自動車が少ない、輸送手段は鉄道に限られていました。しかし、車社会が発達した現在の移動手段は、自動車に移ってきています。ですから、鉄道事業は厳しい状況にあります。そういった中でも経営ができていくのは、国からの基金運用や、駅ビルやホテルなどの事業展開で、何とか経常利益を出せているからです。鉄道と組み合わせ、新たな事業を展開し、グループ会社全体の収益の半分以上を、鉄道事業以外で上げているのが現状です。